

#### ■韓国：エネルギー貯蔵設備の火災事故調査委員会、調査結果を公表

2019年6月11日付の現地紙報道によると、相次ぐエネルギー貯蔵設備（ESS）の火災事故に対応するため韓国政府が2019年1月に設置した官民合同の事故調査委員会が同日、事故調査報告を公表した。調査対象となったのは23件の事故で、韓国政府は調査期間中、トップメーカー2社のSamsung SDI社、LG化学のESS設備の出荷停止、全国で稼働中のESS全体の35%に相当する1,499カ所の設備の運用差し止めを命令していた。事故原因について、(1)蓄電池の保護装置、(2)設備の運用管理、(3)設備の設置状況、(4)蓄電池と制御装置のマッチング、に問題があったことが原因と結論付けた。しかし、メーカーの責任を追及することは避け、安全基準を見直して9月に発表するとの考えを明らかにした。この発表を受けて、Samsung SDIなど各社は、秋以降には出荷を再開できるものと期待を表明している。